



## 2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月4日

上場会社名 立川ブラインド工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7989 URL http://www.blind.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)立川 光威  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)小野 寿也 (TEL)03(5484)6142  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月4日 配当支払開始予定日 2020年9月7日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年12月期第2四半期	20,256	△1.7	2,530	12.1	2,562	11.4	1,604	11.1
19年12月期第2四半期	20,601	5.5	2,257	27.2	2,300	27.5	1,443	28.7

(注) 包括利益 20年12月期第2四半期 1,403百万円(△6.9%) 19年12月期第2四半期 1,507百万円(58.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
20年12月期第2四半期	82.45	—
19年12月期第2四半期	74.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
20年12月期第2四半期	56,206	43,227	69.0
19年12月期	56,381	42,197	67.0

(参考) 自己資本 20年12月期第2四半期 38,788百万円 19年12月期 37,776百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
19年12月期	—	10.00	—	18.00	28.00
20年12月期	—	10.00	—	—	—
20年12月期(予想)	—	—	—	19.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,300	0.6	4,580	4.6	4,650	4.7	2,900	5.0	149.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年12月期 2 Q	20,763,600株	2019年12月期	20,763,600株
② 期末自己株式数	2020年12月期 2 Q	1,305,966株	2019年12月期	1,305,925株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年12月期 2 Q	19,457,683株	2019年12月期 2 Q	19,458,151株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界規模で経済活動が落ち込み、国内においても緊急事態宣言による外出自粛要請を受け、企業活動や個人消費活動が大幅に制限されたこともあり、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、各種政策効果による下支えが続くものの、世帯数の減少や住宅の長寿命化等により新設住宅着工戸数は年々減少傾向となっており、物流コストの上昇などの要因も加わり厳しい環境が続いております。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、顧客満足度の高い製品の開発および新製品の市場浸透を促進するとともに、コスト低減活動や生産性の向上を継続し、収益改善に取り組んでまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、新規開拓に取り組むとともに、既設物件に対する計画的な改修提案や付加価値提案を推進し、製造・施工コストの管理体制強化を進めることにより受注・収益の獲得に努め、減速機関連事業においては、保有技術を活かした製品開発に取り組み、個別受注による成長分野への積極的な提案営業を行い、受注獲得に努めるとともに、生産体制の改善等による収益改善に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は20,256百万円（前年同期比1.7%減）となったものの、営業利益は2,530百万円（前年同期比12.1%増）、経常利益は2,562百万円（前年同期比11.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,604百万円（前年同期比11.1%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### [室内外装品関連事業]

市場のニーズに応えるべく、新型コロナウイルスの飛沫感染防止として有効な『透明ロールスクリーン』を新たに販売したほか、安全性・操作性に優れた「チェーン操作」を採用したヨコ型ブラインド『パーフェクトシルキーチェーン』や、スマート家電リモコンとの組み合わせでスマートスピーカーやスマートフォンで操作が可能となる『ホームタコス パーフェクトシルキー』、住空間に適したデザイン性・安全性を考慮した間仕切『プレイス スウィング』など付加価値の高い製品の市場浸透に注力しました。また、ユーザー向けにSNSを活用したキャンペーンを展開するなど、当社製品の認知度向上にも継続して取り組んでまいりました。

以上の結果により、売上高は17,109百万円（前年同期比0.3%増）となり、営業利益につきましては、原材料価格や物流コストの上昇があったものの、コスト低減活動等に努めた結果、2,335百万円（前年同期比16.1%増）となりました。

#### [駐車場装置関連事業]

昨年度の大規模物件の反動に加え、工期の繰延べにより新築・改修工事が減少したことで、売上高は1,455百万円（前年同期比13.6%減）となりました。営業利益につきましては、製造・施工コストの管理体制強化など継続的な原価低減活動に努めましたが、売上高の減少等により、84百万円（前年同期比27.4%減）となりました。

#### [減速機関連事業]

無人搬送台車駆動用減速機など、当社得意の個別減速機が比較的堅調に推移いたしましたが、全体では工作機械市況の低迷に加え、新型コロナウイルス感染症による営業活動自粛などにより、売上高は1,691百万円（前年同期比8.7%減）となりました。営業利益につきましては、継続的な原価低減活動に取り組みましたが、売上高の減少などにより110百万円（前年同期比15.3%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は56,206百万円で、前連結会計年度末と比較し175百万円の減少となりました。

## (資産)

流動資産は38,326百万円で、前連結会計年度末と比較し142百万円の増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少した一方で、現金及び預金が増加したことによるものであります。

固定資産は17,880百万円で、前連結会計年度末と比較し318百万円の減少となりました。これは主に、滋賀工場建物新設工事に係る有形固定資産の増加があった一方で、株価下落により投資有価証券が減少したことによるものであります。

## (負債)

負債は12,978百万円で、前連結会計年度末と比較し1,206百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、未払金法人税が減少したことによるものであります。

## (純資産)

純資産は43,227百万円で、前連結会計年度末と比較し1,030百万円の増加となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が減少した一方で、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は69.0%と、前連結会計年度末と比較し、2.0ポイントの増加となりました。

## [キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,147百万円増加し、16,212百万円となりました。

## [営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動による資金は、1,843百万円の増加(前年同期は942百万円の増加)となりました。

これは税金等調整前四半期純利益2,438百万円に対し、売上債権の減少額1,285百万円等による増加があった一方で、法人税等の支払額1,047百万円、仕入債務の減少額576百万円等による減少があったことによるものであります。

## [投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動による資金は、283百万円の減少(前年同期は998百万円の減少)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出268百万円、無形固定資産の取得による支出16百万円によるものであります。

## [財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動による資金は、407百万円の減少(前年同期は402百万円の減少)となりました。

これは主に、リース債務の返済による支出32百万円、配当金の支払い374百万円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症による内外経済への影響のほか、当社グループ関連の建設・住宅業界におきましては、個人消費の低迷や住宅着工の見通しなど、先行き不透明感が続くものと予想されます。

このような環境の下、室内外装品関連事業におきましては、お客様の視点に立った新製品開発や営業活動を展開し、リフォーム需要やホテル需要、海外市場など成長分野への取り組みを強化し、さらなる売上拡大・収益確保に努めてまいります。駐車場装置関連事業におきましては、主力製品「パズルタワー」の物件獲得に注力し、付随する改造・改修、メンテナンス需要を獲得してまいります。減速機関連事業におきましては、当社が強みとする特殊減速機を中心に積極的な提案営業を展開してまいります。

これらを踏まえ、2020年12月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点において2020年2月7日に公表しました予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,125,835	16,273,389
受取手形及び売掛金	16,100,181	15,293,436
商品及び製品	822,551	766,097
仕掛品	1,474,031	1,539,472
未成工事支出金	233,507	143,544
原材料及び貯蔵品	3,691,518	3,977,615
その他	767,181	363,028
貸倒引当金	△31,097	△30,376
流動資産合計	38,183,711	38,326,208
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,420,689	13,440,702
減価償却累計額	△9,466,257	△9,551,303
建物及び構築物(純額)	3,954,431	3,889,398
土地	7,444,602	7,444,602
その他	15,188,336	15,614,937
減価償却累計額	△13,791,032	△13,871,032
その他(純額)	1,397,304	1,743,905
有形固定資産合計	12,796,338	13,077,906
無形固定資産	495,177	449,008
投資その他の資産		
投資有価証券	2,309,164	1,820,549
退職給付に係る資産	356,081	383,660
その他	2,359,592	2,265,798
貸倒引当金	△118,270	△116,860
投資その他の資産合計	4,906,568	4,353,148
固定資産合計	18,198,084	17,880,064
資産合計	56,381,795	56,206,272

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,743,573	5,997,160
未払金	1,339,467	1,025,418
未払法人税等	1,109,413	675,384
賞与引当金	221,084	217,130
役員賞与引当金	66,710	31,030
製品保証引当金	25,624	16,581
その他	1,164,719	1,562,508
流動負債合計	10,670,591	9,525,213
固定負債		
役員退職慰労引当金	390,610	341,955
退職給付に係る負債	2,953,452	2,952,297
その他	169,874	158,918
固定負債合計	3,513,937	3,453,170
負債合計	14,184,528	12,978,384
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,016	4,395,060
利益剰余金	29,345,898	30,599,975
自己株式	△671,195	△671,310
株主資本合計	37,544,720	38,798,722
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	345,793	76,322
繰延ヘッジ損益	192	2,351
為替換算調整勘定	24,834	19,666
退職給付に係る調整累計額	△139,265	△108,465
その他の包括利益累計額合計	231,554	△10,124
非支配株主持分	4,420,992	4,439,290
純資産合計	42,197,266	43,227,888
負債純資産合計	56,381,795	56,206,272

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	20,601,804	20,256,860
売上原価	11,520,836	11,324,431
売上総利益	9,080,968	8,932,428
販売費及び一般管理費	6,823,286	6,402,012
営業利益	2,257,681	2,530,415
営業外収益		
受取利息	592	438
受取配当金	41,612	38,764
不動産賃貸料	17,798	17,951
受取保険金	2,353	23,780
その他	36,897	21,172
営業外収益合計	99,254	102,106
営業外費用		
支払利息	10	2
売上割引	41,778	41,508
為替差損	8,205	7,070
災害による損失	-	9,306
その他	6,938	12,381
営業外費用合計	56,933	70,269
経常利益	2,300,002	2,562,252
特別利益		
固定資産除売却益	-	999
特別利益合計	-	999
特別損失		
固定資産除売却損	1,866	5,389
投資有価証券評価損	-	119,073
特別損失合計	1,866	124,463
税金等調整前四半期純利益	2,298,136	2,438,789
法人税、住民税及び事業税	705,195	625,001
法人税等調整額	76,871	186,513
法人税等合計	782,066	811,514
四半期純利益	1,516,069	1,627,274
非支配株主に帰属する四半期純利益	72,143	22,962
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,443,926	1,604,311



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,516,069	1,627,274
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30,953	△256,298
繰延ヘッジ損益	△1,050	2,159
為替換算調整勘定	△6,867	△5,167
退職給付に係る調整額	30,492	35,539
その他の包括利益合計	△8,379	△223,767
四半期包括利益	1,507,690	1,403,507
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,435,488	1,362,632
非支配株主に係る四半期包括利益	72,202	40,874

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,298,136	2,438,789
減価償却費	357,720	381,871
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,585	△3,953
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△35,670	△35,680
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△12,519	△34,506
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	21,934	56,844
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△675	△48,655
製品保証引当金の増減額(△は減少)	4,902	△9,042
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△2,866	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,217	△1,097
固定資産除売却損益(△は益)	1,866	4,389
投資有価証券評価損益(△は益)	-	119,073
受取利息及び受取配当金	△42,204	△39,202
支払利息	10	2
為替差損益(△は益)	6,992	5,106
売上債権の増減額(△は増加)	△774,882	1,285,036
たな卸資産の増減額(△は増加)	△275,041	△208,745
仕入債務の増減額(△は減少)	△67,388	△576,672
未払金の増減額(△は減少)	△101,083	△368,347
その他	336,252	△113,164
小計	1,708,681	2,852,046
利息及び配当金の受取額	41,914	38,881
利息の支払額	△30	△21
法人税等の支払額	△808,447	△1,047,800
営業活動によるキャッシュ・フロー	942,118	1,843,106
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△351,444	△268,947
有形固定資産の売却による収入	-	1,000
無形固定資産の取得による支出	△155,490	△16,048
投資有価証券の取得による支出	△500,686	△298
投資その他の資産の増減額(△は増加)	8,636	1,209
定期預金の純増減額(△は増加)	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△998,984	△283,086
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△31,106	△32,747
配当金の支払額	△348,756	△352,259
非支配株主への配当金の支払額	△22,586	△22,444
その他	△464	△102
財務活動によるキャッシュ・フロー	△402,914	△407,554
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,289	△4,913
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△466,070	1,147,552
現金及び現金同等物の期首残高	14,126,105	15,065,278
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,660,035	16,212,831

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響については、当連結会計年度の第2四半期連結会計期間以降、一時的な営業収益の低下が見込まれるものの、経済活動再開に伴い、当社グループの需要は徐々に回復していくものと想定しております。固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについて、当連結会計年度の見積りに重大な影響を与えるものではないと判断しておりますが、今後の収束時期に左右されることから、将来における実績は、仮定に基づく見積りから乖離する可能性があります。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	17,063,966	1,683,958	1,853,879	20,601,804	—	20,601,804
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	69,702	69,702	△69,702	—
計	17,063,966	1,683,958	1,923,582	20,671,507	△69,702	20,601,804
セグメント利益	2,011,517	115,726	130,438	2,257,681	—	2,257,681

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	17,109,914	1,455,234	1,691,711	20,256,860	—	20,256,860
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	23,437	23,437	△23,437	—
計	17,109,914	1,455,234	1,715,148	20,280,297	△23,437	20,256,860
セグメント利益	2,335,853	84,034	110,527	2,530,415	—	2,530,415

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。